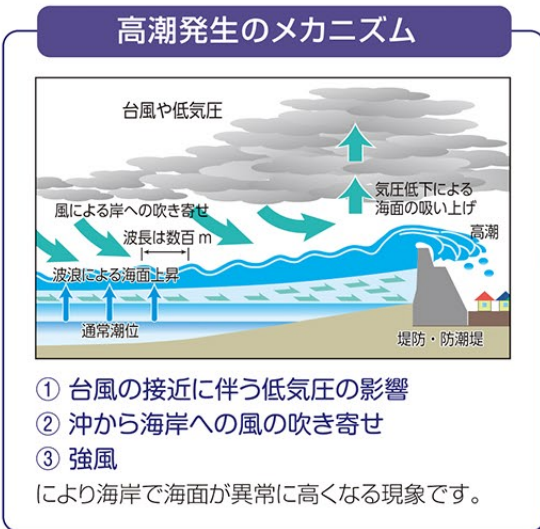


高潮について

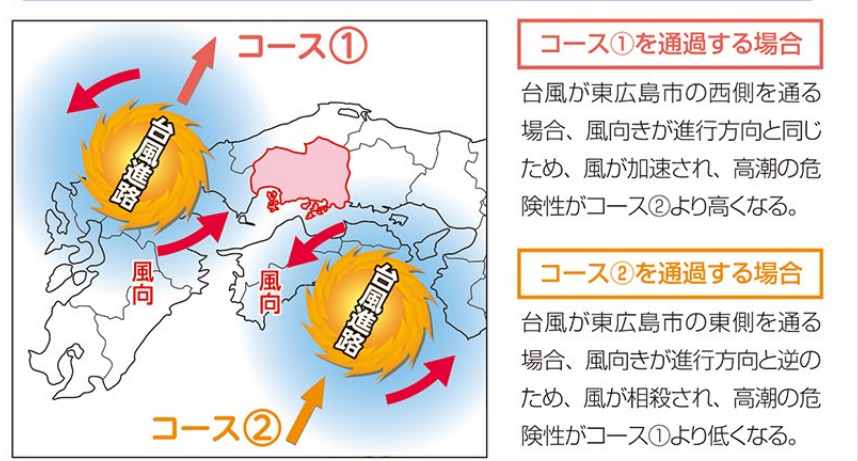
◆ 高潮とは ◆

台風や発達した低気圧が通過するとき等、海面が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。
この「高潮」に伴い浸水害等の災害のおそれがあると予想された場合、「高潮注意報」または「高潮警報」が発表されます。

◆ 高潮発生メカニズム ◆

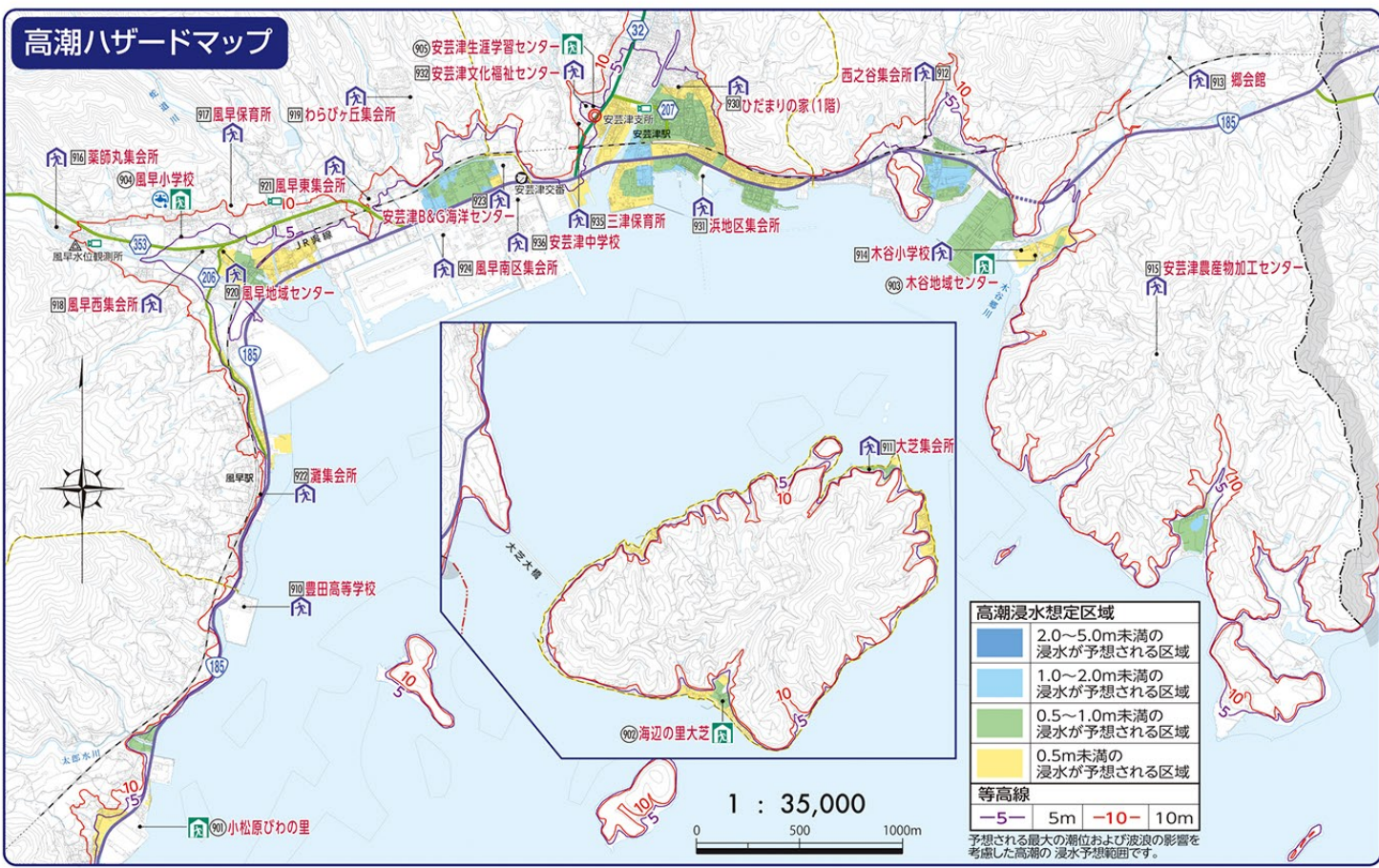


◆ 高潮の規模は、台風の規模のほか、通過するコースにも大きく影響されます。 ◆



◆ 高潮に対して危険なところ ◆

- 海拔ゼロメートル地帯 ゼロメートル地帯では、高潮による浸水被害を被る危険性が高くなります。
- 湾奥部 海水が湾外へと逃げにくいので、湾内の水位が上がります。
- 自然地形（V字谷などの山地） 波の集中が起こりやすく、局所的に水位が上がります。
- 自然地形（急深な海底地形） 波が海岸部で急激に高くなります。
- 自然地形（河口部） 高潮と洪水の両方の危険が重なります。



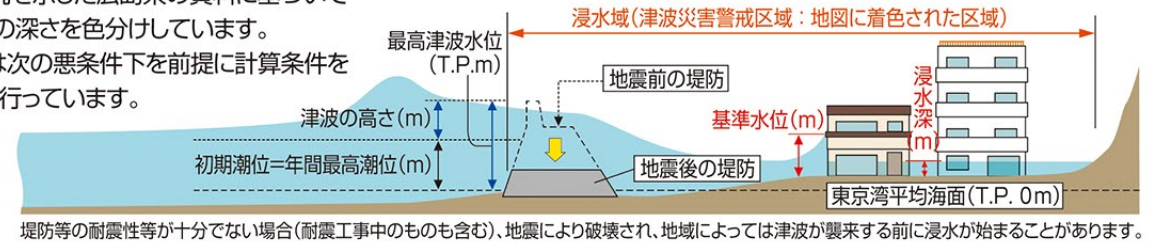
津波について

◆ 津波による浸水想定 ◆

津波浸水想定区域は、南海トラフ巨大地震によって、津波が発生した場合に想定される浸水状況を示した広島県の資料に基づいて作成しており、想定される浸水の深さを色分けしています。
また、想定される浸水状況は次の悪条件下を前提に計算条件を設定し、浸水シミュレーションを行っています。

悪条件下

- ◆ 初期潮位は、年間最高潮位として設定しています。
- ◆ 地震による地盤の沈下を考慮しています。
- ◆ 構造物である護岸や防波堤は機能せず、堤防は地震前の25%の高さまで沈下するものとして設定しています。なお、堤防については、津波が越流した場合、破壊されるものとしています。



- ◆ 浸水域 海岸線から陸地に津波が遡上することが想定される区域
- ◆ 津波災害警戒区域 最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命、身体に危害が生じるおそれがある区域で、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域
- ◆ 浸水深 陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの海面から水面までの高さ
- ◆ 基準水位 浸水深の水位に、建築物等への衝突による津波の水位上昇(せり上がり)を加えた水位
- ◆ T.P. 東京湾平均海面からの高さであり、標高、海拔と同じ
- ◆ 標高 5m 等高線 標高の目安として表示したものであり、5mより高い所は避難しなくてもよいというものではありません。

◆ 大津波警報、津波警報又は津波注意報の発表基準 ◆

種 類	予想される津波の高さ			想定される被害と取るべき行動
	予想区分	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m 5～10m 3～5m	10m超 10m 5m	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や丈夫な3階以上の建物など安全な場所へ避難してください。
津波警報	1～3m	3m	なし	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。直ちに高台や丈夫な3階以上の建物など安全な場所へ避難してください。
津波注意報	0.2～1m	1m	高い	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。海の中にいる人は、直ちに海から上って、海岸から離れてください。

◆ 避難時に注意すること ◆

海岸近くで地震を感じたら直ちに高い所へ避難!
強い地震(震度 4 以上)や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

津波は繰り返し襲ってきます!
第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはけません。

揺れが小さくても油断しない!
揺れが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

